

令和 6 年度 今治市社協グループホームゆいの家 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自 己 評 価 実 施 日	4 ～ 5 月中
外 部 評 価 日	令和 6 年 6 月 21 日(金曜日)
実 施 方 法	運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」
外 部 評 価 者	民生児童委員協議会会長、地域住民代表、今治市役所大三島支所、大三島支部運営委員長、伯方地域包括支援センター大三島サブセンター、今治市社協大三島支部支部長、グループホームゆいの里管理者等 計 1 2 名
開 示 状 況	利用者及びその家族へ送付 今治市へ提出 今治市社協ホームページ・事業所内へ掲示

令和6度 今治市社協グループホームゆいの家 (自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記 述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ゆいの家の理念、行動指針を継続しています。今年4月から介護職の大きな人事異動があり、改めて認知症介護理念の確認を行いたいと思います。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ○ D. ほとんどできていない	新型コロナの5類移行を受けて、地域行事参加や地域の商店に買物に行くなど地域づきあいを取り戻しつつあります。感染対策とのバランスをとって行く必要があります。	まだ、コロナが続いていたりしているので無理のない程度で行なえばよいと思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に一度実施できています。市職員や地域住民代表の方の参加も毎回あり有意義な話し合いの場になっていると思います。職員自己評価ではこの会議の内容が浸透していないとの意見もみられました。	よくできていると思います。会議に出席させていただき色々丁寧な説明がありよく分かります。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上述の運営推進会議の機会を活用して、事業所での課題(介護保険の適正化やサービスの取組など)を相談し、助言をもらう機会としています。防災訓練などでも協力を得られています。	よくできていると思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「住みなれた地域で自分らしく暮らす」を大切に玄関の無施錠も含めて取り組んでいます。今後個々のケースで重度化等に伴い、安全配慮が必要なケースも予測されるため、身体拘束しないケアができるように職員全体で考え、取り組んでいきます。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的な対策検討委員会も開かれしっかり対策されています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議等で高齢者虐待関連法などの勉強会をおこなっています。虐待は白か黒かではなく不適切な声かけ等グレーゾーンが広く存在する事を日頃から注意して、認知症の方のみをケアするグループホーム職員として尊厳を護るケアの実践を心掛けています。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修会・勉強会も開かれ虐待防止についての対策がとれています。 ・グレーゾーンの存在を意識している点。そこから注意してケアにあたっている事は十分な評価に値する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は成年後見制度や日常生活自立支援事業の制度利用支援経験があり、研修等で職員に周知をしています。認知症の人の権利擁護(虐待防止に資する)制度して介護職員全員に理解を深めて欲しいと思います。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約に関する説明・同意は十分な時間をとり分かりやすく説明する様に努めています。介護保険改正に伴う加算の新設なども専門用語ではなく、分かりやすい言葉で説明を行い、納得の上で同意いただくよう努めています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、全ご家族様にアンケート調査を行っており、満足度調査や要望、意見を伺う機会を持っています。すべての要望に対応できてはいませんが、取りまとめをして職員の気付きにもつなげていきます。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティング、また毎日の申し送りの場で意見を聞き、職場環境や業務内容などに反映することがあります。職員自己評価で個別面談の必要性の提案があり、今年度実施していきます。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社会福祉協議会として福利厚生は充実しており、人事考課の制度もあります。夜勤も含む変則勤務のため負担が少ない様に配慮しています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・就業に関しては個々の人の考え方に執着し過ぎず、各々のスタンスや現状を踏まえながら調和できる様に取り組む必要があると思う。 ・夜間担当者の負担をへらせる手だてがあればよいと思います。 ・重労働ですので職員さんのメンタルも気になります。十分にケアしてあげて下さい。 ・ストレスがかかる職場なので、職員さんのメンタルを十分ケアしてほしい。 ・職場環境、条件の整備をされていますが、介護労働は厳しい部分が多くあります。個々の体調管理にも気をつけて下さい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修計画に基づき内部・外部研修に計画的に参加しています。研修は、本人の興味関心から「学びたい」意欲を大切にしながら、事業所としての必要性で実施するものもあります。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職場の課題に沿った研修内容により意欲の向上につながると思います。 ・研修会参加後報告を実施されている事が伺えます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響もあり合同の勉強会や交流の場が減少している現状がある。介護社会資源が少ない地域性も踏まえて、現在実施されている認知症カフェや合同勉強会へ参加しています。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の家事・料理・洗濯物干しやたたみなど出来るだけ一緒に行っている。重度から作業出来ないかたはリビングで一緒に時間を過ごすなど一人一人の役割を確認している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ○ D. ほとんどできていない	利用者さんにとっては家族との面会が何より大切に感じていますが、面会の時間制限や、外出、外泊に一定の制限が継続してある現状にあります。馴染みのお店にいくなどは徐々に再開できています。	久しぶりに先日訪問し、みなさん穏やかな表情をされていて、大事にされている事が良く分かりました。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の思いを最優先に考えているが、認知症などからご家族の話や生活歴等から考察する事もあります。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月一回の職員会議(ミーティング)にて全員のケース会議を実施し現状の課題への検討、工夫や短期目標、ケア内容の確認、修正などを行っている。必要性がある場合に家族、関係者と話し合いを行います。	きめ細かい対応がされていると思いました。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・きめ細かい対応がされてとても良いと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の業務記録、個人記録にケア目標及びケア内容の記載をしてあり、それに沿って確認、気付きの記述をしています。ケース会議にてプランの見直しに生かしています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームは生活の場として24時間365日のケアが必要であり、その時々で生まれるニーズには随時対応をしていきます。重度化等からくる医療ニーズ対応、単身者の経済的ニーズへの対応等取り組みがあります。	それぞれに工夫しながらニーズにあった対応がされていると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ5類移行を受けて、お大師さんの地域行事参加や長年馴染みで通っている美容院の利用などを徐々に再開する事が出来ています。今後は感染症予防に注意しながら、地域に出ていく必要があります。	コロナ禍の現状をみながら徐々に対応していけば良いと思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね入所前からの炊事委にお願いしています。重度化など状態の変化に伴い家族と話し合い、医療機関を決めていく事もあります。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	健康状態や異変を伝えるため入院、退院の支援は出来るだけ同行して直接援助する様にしています。家族の援助になる場合、病院と情報連携をおこなったり、健康状態（血圧・熱など）の情報や状態の変化について文書で伝える様にしています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・都度の対応を聞く限りでは十分な連携がとれていると思う。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時に終末期に事業所でできること、出来ない事をはなし、入所中に状態が変わった時には、主治医より医療の必要性などご家族に説明して頂き、その時にご家族と方向性を話し合います。また、本人、ご家族の気持ちの変化や不安がある時には、その都度話し合いを持つようにしています。職員の不安に対して、想定されるリスクを主治医から説明してもらい、観察点や症状を知ることにより職員の不安を軽減していきます。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的な訓練は出来ていない現状です。起こり得る急変、事故発生時のマニュアルを作成しています。定期的に消防の救急救命研修に参加して、実践力を身に付ける事ができるようにしていきます。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本年度より地域合同の防災避難訓練（6月）を再開し、実地で火災発生時の初期消火、通報、避難誘導の訓練を行う事が出来ました。地域参加者や消防、地域住民代表の方から実際の意見をもらうことで改善すべき点や気づきが得られました。地震、風水害の訓練も実施します。（図上訓練含む）	・毎回参加させて頂いていますがよくできていると思います。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・状況によって対応は変わるものなので、様々な訓練を通じ自分たちに何ができ、何が出来ないか明確にしておく必要がある。 ・海・川の近くなので津波避難の訓練は必要だと思います。 ・何回も参加させて頂きましたが続けて下さい。 ・少し訓練不足です。 ・6月の見廻り時に避難廊下の出口付近に椅子がおかれていたのが気になりました。建物内の避難経路は広くして欲しい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症の病気や身体機能の低下に伴う生活の困難さがあることを理解して、個々に言葉かけや対応を工夫していく必要があります。職員自己評価では、言葉かけが適切でないと感じられる場面があるのと意見もあり、今後話し合いをしていきます。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・言葉掛けの反省がありますが、その時点で職員自身の疲労感があるかも知れませんが無理のない様体調管理をしてください。 ・No.6を踏まえ、支援しようとしている姿勢は十分評価できると思う。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	元気なご利用者であれば生活の意向や希望を実践しやすいので、買物や畑仕事、散歩など希望に沿って支援する事ができます。重度なご利用者などの場合、表情やしぐさから推し量り、活動と休養のペースを調整することなどもあります。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の出来る事を把握し食材の下ごしらえ、おやつ作り、盛り付け、食器拭き、洗いなどを一緒に行っています。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・共同生活する中で一人一人に合わせる事は難しいと思う。可能な範囲で一緒に続けることが大切。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べ物の好き嫌いや生活習慣に配慮して、食材、調理法を変えて作っています。(主食をパンに変更する等)水分摂取量は記録して、少ない方には飲み物好きな物に変更するなど工夫を取り入れて支援しています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きは自分から行う人、声かけが必要なかた、拒否される方と様々あり介助方法を工夫しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・拒否する支援については工夫を続ける必要あり。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人の排泄リズムを観察記録していく事で、声かけの言葉やタイミングをみて支援しています。排便の確認が分かりにくいことがあります。入浴時の下着の状態、食事量の減少、お腹の張り具合などを観察していき、緩下剤など主治医に相談し、その方にあった予防策をとっています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本2日に一回でしたが、高齢となり入浴での疲労感、脱力感が見られるようになり、重度化したには入浴の間隔を開ける様にしています。また、入浴前後のバイタル、水分補給、時間に気を付けています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	みんなが、思い思いの時間に休んでもらっています。声かけしても昼間は横にならないと椅子でウトウトされる方もいます。穏やかに眠りに入れるように、居室の温度調整、照明の加減、音などにも気を付けています。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の内服薬の副作用、用法、用量は控えています。新しく処方された時には、連絡帳に注意事項、処方目的を記載して、異変があればすぐに主治医に連絡する様にしています。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・医師や薬剤師との連携に努め、症状の変化にも十分配慮している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の出来る事、好きなこと、得意な事、苦手なことを把握することで、一日の中で家事、創作、レク、ゲームなどその人の笑顔が見られる様支援しています。例えば、食事作りに直接参加できないかたでもメニュー書きの役割を担ったりレク、ゲームに参加できなくても、団らんの輪の中で雰囲気を感じてもらうなどの取り組みがあります。	その人個人の好きなこと出来る事、やりたい事に配慮した取り組みが出来ていると思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で長く外出支援を自粛していましたが、お大師さんの参拝などに出かける事が出来ました。それぞれの地元のお大師堂まわる等で喜んでもらえたと思います。現在、家族の外出支援には一定の制限があり(自宅での健康観察期間)気軽にでかけられないことから、課題となっています。	・現在おかれている状況の中でよくできていると思います。 ・無理をしないで、現状に合った方向でよろしいかと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的にご利用者にお金は持つて頂かないようにしています。お金を持つていないと不安になるなど、どうしても持ちたい希望のある場合は、家族、本人と相談して少額を持たれている方もおられます。個々の預かり金を金庫で管理しており、その都度説明したり、買物などで使えるようにしています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話でお話する支援は日常적으로おこなっています。携帯電話でお話される方や事業所のタブレット端末を活用したテレビ(LINE)電話も多く活用できています。レクリエーションの一環としてご利用者に、ご家族にあてた年賀状、暑中お見舞いを書いてもらい支援をしています。			

39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	混乱する為席には名前のシールを貼っていますが、それが嫌な方には貼らずに対応しています。ホールに、季節の花を飾ったり、中庭に菜園を設けることで、季節感を感じ、会話などふれあいが促進できるようにしています。リビングの決まった席だけでなく、ソファや畳台など、思い思いのところで休める様にしています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・様々な対応に努めるが故に物品も増え、物で空間を圧迫している箇所も見受けられる。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の思い・要望に沿った自分らしい暮らしの支援を心掛けています。認知症などにより思いを伝える事が難しくなっている方もおられるため、ひとり一人によりそった意思決定の支援を考えていく必要があります。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホームは生活の場として、自宅の様にくつろげる（自分らしい時間）ことが重要になります。生活歴の中からその人の大切にしている事柄を考えてケアに生かしていきたいと思えます。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	血圧・熱などの一般状態など総合的に記録し、職員で共有することで体の変化の状態に気付きます。とくに自分で体調を伝える事が難しい方には異変の早期発見に努め、主治医につなげられるように気を付けています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・自身の状態を伝え難い点を踏まえていること。その為、気付きが一番難しい。努めている姿勢は十分だと思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各々の食事の時間や起床、就寝など出来るだけ本人のペースを尊重します。ただし、時間等の混乱により生活の困難さが生じている場合は、工夫をしながらメリハリある生活ペースを支援する方もおられます			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自室の持物についてできるだけ制限せず、使い慣れた家具や飾り、使い慣れた道具などをつかえる環境にしている。ただし、混乱をさけるためにシンプルな設えにしている居室もあります。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・状況を考えると対応としては出来ている方だと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	4月にお大師さん行事の参加する事が出来ました。人と接する外出は感染対策を実施して慎重に行う必要があります。散歩や畑作業、近隣ドライブなどから外に出て、気分転換出来る機会があります。	・出来る範囲で取り組んで行けばいいと思います。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態が異なる為、安全な活動や意思決定の支援が必要となります。出来る人、分かる人に役割などが集中する傾向があるので、重度の方の意欲や能力を引き出す支援を日々考えていく必要があります。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が暖かい笑顔で対応し、団らんの場でふれあいを促進して、生き生きとした笑顔の場面を作れるように対応しています。認知症では心理症状として意欲低下（アパシー）がみられる方もおられるので、ひとり一人に着目してより添える支援をめざします。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとつひとつの関わり合いの中、そして限られた時間でできることを実践し続けることで入居者にも変化は生れてくると思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状ではあまり出来ていない。施設敷地内を散歩するなどの支援を再開しているので、出会った地域の人とあいさつを交わす事などから顔なじみの関係を作っていく努力をしています。	・良いと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住み慣れた島でご利用者一人一人が自分らしい生活をできることを念頭に置いて支援をおこなっています。感染症への対策強化などから地域交流が難しくなっている部分がありますが、その工夫をして外の空気を感じられる機会を増やし、職員が良い関係を作る事で、ご利用者一人一人が安心して、笑顔で生き生きした場面を増やしているように努力しています。	・先日の見学で利用者さんも職員さんにもこやかな表情で信頼関係が何えとてもよいと思いました。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・これまでにない制限と並行して生活する事は正直大変だと思う。工夫した事がどのように利用者さんへ返っているか、良かった事柄を見極めながら続けていって欲しい。 ・先日の見学で利用者さんの笑顔もみれてとてもよい関係ができているようでうれしく思いました。

目標達成計画

作成日： 令和 6年 12月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	就業環境の整備:グループホームは2交代制の夜勤など含む変則的な勤務体制であり、夜勤担当者の負担軽減への配慮が必要であるとのご意見がありました。 職員さん一人ひとりの心理的な負担を軽減して働きやすい職場環境を作っていく必要がある。	職員の体調管理やメンタルヘルスに配慮して、安心して働ける労働環境整備する。	上司による個別面談を実施して、職員一人ひとりの仕事の悩み(感じている困難さなど)を聴く機会を設けます。そのうえで、職員全員が持つ力を発揮してチームケアを推進できる職場環境づくりを考えていきます。 (例:勤務時間の調整、きちんと休養が取れる勤務体制、夜勤時の心理的な負担の軽減へのとりくみなど)	3ヶ月
2	25	災害対策:6月の地域合同避難訓練で、訓練不足であるご意見をいただきました。訓練実践での職員連絡体制の不備などがありました。今後は火災だけでなく地震や水害など訓練を繰り返す行うことで課題を改善して緊急時に備えていく必要があります。	BCP(業務継続計画)に基づき、火災に加えて地震、津波、風水害などの自然災害想定の方策訓練・研修を実施します。 津波、高潮などで一時避難場所への避難が必要になった場合の避難訓練(実地)を実施します。	一時避難場所となっているクルツラントウレーベンへの実際の避難訓練を行います。 また大規模災害発災後の業務継続に向けた訓練(非常備蓄品の確認、発電機の使用訓練)も合わせて実施します。	3ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

					ヶ月
--	--	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。